
令和6年度

地方公共団体金融機構決算の概要

地方公共団体金融機構

令和6年度決算のポイント

利益の状況

- ◇ 経常利益は828億円で、前年度に比べ、80億円の減少※
当期純利益は362億円で、前年度と同水準

※ 一般勘定:362億円(前年度と同水準)、管理勘定:465億円(前年度比▲79億円)

資産等の状況

- ◇ 資産総額は貸付金等23兆8,938億円で、前年度末に比べ、2,702億円の減少
負債総額は債券等23兆4,448億円で、前年度末に比べ、2,934億円の減少
純資産総額は利益剰余金等4,490億円で、前年度末に比べ、231億円の増加

財務基盤の状況

- ◇ 地方公共団体健全化基金は9,318億円で、前年度末に比べ、53億円の増加
金利変動準備金等は2兆9,273億円で、前年度末に比べ186億円の増加※

※ 一般勘定:金利変動準備金2兆2,000億円(前年度と同額)、管理勘定:公庫債権金利変動準備金7,273億円(前年度比+186億円)

会計処理等は、原則として企業会計原則による。なお、地方公共団体健全化基金、金利変動準備金等の機構特有の財務基盤に係る会計処理については、関係法令の規定等による。

利益の状況 [機構全体]

- ◇ 令和6年度の**経常利益は828億円**で、前年度に比べ、80億円の減少(▲8.8%)
貸付金利息が減少したことに加え、債券利息が増加したこと等が要因
- ◇ **当期純利益は362億円**で、前年度と同水準

科 目	令和6決算(A)	令和5決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	2,086億円	2,091億円	▲4億円
貸付金利用	1,857億円	1,895億円	▲38億円
貸余金運の	26億円	1億円	25億円
そ	202億円	194億円	7億円
経 常 費 用	1,258億円	1,182億円	75億円
債券利	1,154億円	1,098億円	55億円
借入金	13億円	10億円	3億円
そ	90億円	73億円	16億円
経 常 利 益	828億円	908億円	▲80億円
特 別 利 益	320億円	525億円	▲204億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	300億円	500億円	▲200億円
利差補てん積立金取崩額	20億円	25億円	▲4億円
特 別 損 失	786億円	1,070億円	▲284億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	486億円	570億円	▲84億円
国庫納付金	300億円	500億円	▲200億円
当 期 純 利 益	362億円	362億円	▲0億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [一般勘定]

◇ 令和6年度の**経常利益及び当期純利益は362億円**で、前年度と同水準
貸付金利息の増加額が債券利息の増加額を下回ったものの、余資運用益が増加したこと等が要因

科 目	令和6決算(A)	令和5決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	1,463億円	1,334億円	129億円
貸 付 金 利 息	1,239億円	1,136億円	102億円
余 資 運 用 益	26億円	1億円	25億円
金 利 ス ワ ッ プ 受 入 利 息	16億円	21億円	▲4億円
健 全 化 基 金 受 入 額	173億円	169億円	3億円
そ の 他	8億円	5億円	2億円
経 常 費 用	1,101億円	971億円	129億円
債 券 利 息	964億円	851億円	113億円
借 入 金 利 息	13億円	10億円	3億円
そ の 他 業 務 費 用	35億円	27億円	8億円
営 業 経 費	49億円	43億円	5億円
基 金 管 理 勘 定 繰 出 金	32億円	37億円	▲4億円
そ の 他	6億円	3億円	3億円
経 常 利 益	362億円	362億円	▲0億円
特 別 利 益	—	—	—
特 別 損 失	—	—	—
当 期 純 利 益	362億円	362億円	▲0億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

利益の状況 [管理勘定]

- ◇ 令和6年度の**経常利益は465億円**で、前年度に比べ、79億円の減少(▲14.6%)。貸付金利息の減少額が債券利息の減少額を上回ったこと等が要因
- ◇ 地方公共団体金融機構法等の規定に基づき、利益の範囲内で公庫債権金利変動準備金への繰入を行ったため、令和6年度の当期純利益はゼロ

科 目	令和6決算(A)	令和5決算(B)	増 減((A)-(B))
経 常 収 益	661億円	796億円	▲135億円
貸 付 金 利 息	617億円	758億円	▲140億円
基 金 一 般 勘 定 繰 入 金	32億円	37億円	▲4億円
そ の 他	10億円	0億円	10億円
経 常 費 用	195億円	251億円	▲55億円
債 券 利 息	189億円	247億円	▲57億円
そ の 他	5億円	3億円	2億円
経 常 利 益	465億円	545億円	▲79億円
特 別 利 益	320億円	525億円	▲204億円
公庫債権金利変動準備金取崩額	300億円	500億円	▲200億円
利差補てん積立金取崩額	20億円	25億円	▲4億円
特 別 損 失	786億円	1,070億円	▲284億円
公庫債権金利変動準備金繰入額	486億円	570億円	▲84億円
国 庫 納 付 金	300億円	500億円	▲200億円
当 期 純 利 益	—	—	—

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [機構全体]

◇ 令和6年度末現在の**資産総額は23兆8,938億円**で、前年度末に比べ、2,702億円の減少(▲1.1%)
貸付金が3,738億円減少したこと等が要因

科 目	令和6年度末現在(A)	令和5年度末現在(B)	増 減((A)-(B))
貸 付 金	22兆7,001億円	23兆740億円	▲3,738億円
(一般勘定分)	19兆9,082億円	19兆6,393億円	2,688億円
(管理勘定分)	2兆7,919億円	3兆4,346億円	▲6,426億円
有 価 証 券	2,720億円	2,045億円	675億円
現 金 預 け 金	9,087億円	8,736億円	350億円
そ の 他 資 産	65億円	55億円	9億円
有 形 固 定 資 産	28億円	29億円	▲1億円
無 形 固 定 資 産	35億円	34億円	1億円
前 払 年 金 費 用	0億円	—	皆増
合 計	23兆8,938億円	24兆1,641億円	▲2,702億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

資産の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 令和6年度末現在の一般勘定における資産総額は21兆1,002億円で、前年度末に比べ、3,727億円の増加(+1.8%)
- ◇ 令和6年度末現在の管理勘定における資産総額は3兆3,369億円で、前年度末に比べ、5,357億円の減少(▲13.8%)

	科 目	令和6年度末現在(A)	令和5年度末現在(B)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	貸 付 金	19兆9,082億円	19兆6,393億円	2,688億円
	有 価 証 券	2,720億円	2,045億円	675億円
	現 金 預 け 金	9,087億円	8,736億円	350億円
	そ の 他 資 産	49億円	35億円	13億円
	有 形 固 定 資 産	28億円	29億円	▲1億円
	無 形 固 定 資 産	35億円	34億円	1億円
	前 払 年 金 費 用	0億円	—	皆増
	合 計	21兆1,002億円	20兆7,275億円	3,727億円
管 理 勘 定	貸 付 金	2兆7,919億円	3兆4,346億円	▲6,426億円
	そ の 他 資 産	15億円	19億円	▲3億円
	一 般 勘 定 貸	5,434億円	4,361億円	1,073億円
	合 計	3兆3,369億円	3兆8,727億円	▲5,357億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [機構全体]

- ◇ 令和6年度末現在の**負債総額は23兆4,448億円**で、前年度末に比べ、2,934億円の減少(▲1.2%)
債券が2,716億円、金融商品等受入担保金が424億円減少したこと等が要因
- ◇ 公庫債権金利変動準備金は、300億円の国庫納付を行った一方で、借換益等486億円を繰り入れた結果、前年度末に比べ、186億円の増加

科 目	令和6年度末現在(A)	令和5年度末現在(B)	増 減((A)-(B))
債 券	18兆6,776億円	18兆9,493億円	▲2,716億円
(一般勘定分)	16兆1,296億円	15兆8,490億円	2,805億円
管理勘定分	2兆5,480億円	3兆1,003億円	▲5,522億円
借 入 金	5,295億円	5,303億円	▲8億円
金 融 商 品 等 受 入 担 保 金	3,706億円	4,130億円	▲424億円
地 方 公 共 団 体 健 全 化 基 金	9,318億円	9,264億円	53億円
金 利 変 動 準 備 金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
公 庫 債 権 金 利 変 動 準 備 金	7,273億円	7,086億円	186億円
利 差 補 て ん 積 立 金	13億円	34億円	▲20億円
そ の 他	65億円	69億円	▲4億円
合 計	23兆4,448億円	23兆7,382億円	▲2,934億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

負債の状況 [一般勘定・管理勘定]

- ◇ 令和6年度末現在の一般勘定における負債総額は20兆7,090億円で、前年度末に比べ、3,496億円の増加(+1.7%)
- ◇ 令和6年度末現在の管理勘定における負債総額は3兆2,791億円で、前年度末に比べ、5,357億円の減少(▲14.0%)

	科 目	令和6年度末現在(A)	令和5年度末現在(B)	増 減((A)-(B))
一 般 勘 定	債 券	16兆1,296億円	15兆8,490億円	2,805億円
	借 入 金	5,295億円	5,303億円	▲8億円
	金 融 商 品 等 受 入 担 保 金	3,706億円	4,130億円	▲424億円
	地 方 公 共 団 体 健 全 化 基 金	9,318億円	9,264億円	53億円
	金 利 変 動 準 備 金	2兆2,000億円	2兆2,000億円	—
	管 理 勘 定 借	5,434億円	4,361億円	1,073億円
	そ の 他	40億円	44億円	▲3億円
	合 計	20兆7,090億円	20兆3,594億円	3,496億円
管 理 勘 定	債 券	2兆5,480億円	3兆1,003億円	▲5,522億円
	公 庫 債 権 金 利 変 動 準 備 金	7,273億円	7,086億円	186億円
	利 差 補 て ん 積 立 金	13億円	34億円	▲20億円
	そ の 他 負 債	24億円	25億円	▲0億円
	合 計	3兆2,791億円	3兆8,149億円	▲5,357億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

純資産の状況

- ◇ 令和6年度末現在の**純資産総額は4,490億円**で、前年度末に比べ、231億円の増加(+5.4%)
- ◇ 金利スワップ取引に係る評価損益等である繰延ヘッジ損益が前年度末に比べ131億円減少した一方で、一般勘定の当期純利益362億円を積立金として計上したため

科 目	令和6年度末現在(A)	令和5年度末現在(B)	増 減((A)-(B))
地 方 公 共 団 体 出 資 金	166億円	166億円	—
一 般 勘 定 積 立 金	4,066億円	3,704億円	362億円
管 理 勘 定 利 益 積 立 金	578億円	578億円	—
繰 延 ヘ ッ ジ 損 益	▲320億円	▲189億円	▲131億円
			(うち金利スワップ期中解約分 ▲142億円 うち既存スワップの時価分 1億円 うち繰延ヘッジの償却分 10億円)
合 計	4,490億円	4,258億円	231億円

※ 単位未満切り捨てのため、増減が一致しない場合がある。

(参考) 令和6年度決算における主要勘定の状況

(単位: 億円)

【貸付金】

前期末残高 ①	貸付額 ②	回収額 ③	期末残高 ①+②-③
230,740	14,368	18,106	227,001

【債券】

前期末残高 ①	発行額 ②	償還額等 ③	期末残高 ①+②-③
189,493	17,404	20,121	186,776

【地方公共団体健全化基金】

前期末残高 ①	納付金 ②	基金組入額(+) 基金取崩額(▲) ③	期末残高 ①+②+③
9,264	226	▲173 (注)	9,318

利下げ所要額 ①	基金運用益 ②	②-①
241	68	▲173

(注) 利下げ所要額に基金運用益を充当した残余である。

【金利変動準備金・公庫債権金利変動準備金】

	前期末残高 ①	取崩額 ②	繰入額 ③	期末残高 ①+②+③
金利変動準備金	22,000	—	— (注)	22,000
公庫債権金利変動準備金	7,086	▲300	486	7,273

【利差補てん積立金】

前期末残高 ①	取崩額 ②	期末残高 ①-②
34	20	13

(注) 関係法令の規定に基づき算出した金利変動準備金の積立限度額(当該期末における一般勘定の貸付金残高の1,000分の100)を前期末残高が超えているため、繰入れを行っていない。

※ 単位未満切り捨てのため、計が一致しない場合がある。